



浦添市医師会報

The Journal of the URASOE Medical Association

春夏号

Vol.91

2023 (令和5年)

pickup

第62回浦添市医師会定時総会

浦添市医師会旧正新年会

第23回うらそえ市民公開講座

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー市民公開講座

CONTENTS

- 01 第62回浦添市医師会定時総会
- 02 浦添市医師会旧正新年会
- 06 令和4年度浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー市民公開講座(報告)
- 08 令和4年度那覇空港航空機事故対処訓練(報告)
- 10 第23回うらそえ市民公開講座(報告)
- 13 令和4年度浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー業務報告
- 15 「うらそえ腎腎プロジェクトってなあに？」
- 20 入会・退会・異動報告
- 21 理事会報告
- 23 講演会・研修会等のご案内
- 25 事務局からのお知らせ
- 27 編集後記

浦添市医師会提供ラジオ番組
「ゆんたく健康トーク」出演予定

表紙の写真



「内間手づくり鯉のぼりまつり」

若夏の過ごしやすい季節となり、市内の内間西公園では毎年この時期になると、うららかな春風に泳ぐ地域の保育園児手づくりの鯉のぼりが広がります。

今年は例年に比べて梅雨入りも遅く、5月の連休も好天が続きました。

新型コロナウイルス感染症に翻弄されたこの3年間でしたが、今春からはコロナ前の活気も戻り、私達の日常生活もひとつひとつ元のかたちに戻っていくことを願うばかりです。

コロナ期間中も、さすがにマスク着用の鯉のぼりを見掛けた記憶はなく(笑)、自然の風に身を任せ、悠々自適に青空を泳ぐ鯉のぼりは、“コロナなんて何処吹く風”だったかもしれません。

第62回 定時総会

日時:令和5年3月29日(水)19:00

場所:浦添市医師会事務局

第62回浦添市医師会定時総会が、3月29日(水)19時から浦添市医師会事務局にて開催された。

司会の藏下要副会長より、会員数259名のうち231名の委任状を含む出席による本総会成立と、上程された全ての議案について決議が可能との報告があり、開会が宣言された。

続いて洲鎌盛一会長の挨拶の後、議長の選出が行われ、議場に諮ったところ執行部案の洲鎌盛一会長が選出された。

- ・ 議決権のある当法人会員総数：259名
- ・ 総会員の議決権の数：259個
- ・ 出席会員数(委任状によるものを含む)：231名
- ・ この議決権の総数：231個

第62回浦添市医師会定時総会

1. 開会宣言
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議事

第1号議案 令和4年度(第31期)補正予算案に関する件(満場一致で承認)

第2号議案 令和5年度(第32期)事業計画案に関する件(満場一致で承認)

第3号議案 令和5年度(第32期)収支予算案に関する件(満場一致で承認)

第4号議案 会員不祥事に関する件、浦添市医師会に寄せられた苦情について(報告)

以上をもって議長より本総会の議事を終了した旨が述べられ閉会した。



浦添市医師会 旧正新年会

日時:令和5年2月10日(金)19:00
場所:沖縄プリンスホテルオーシャンビューぎのわん

浦添市医師会事務局

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い中止が続いていました「旧正新年会」が実に3年ぶりに開催されました。

地域の関係機関や行政職員など大勢の参加がある忘年会とは異なり、純粋に浦添市医師会員の医師のみを参加対象として平成31年に企画されたもので、普段医師会活動への参加が難しい先生も、この旧正新年会への参加を楽しみにされている先生は意外(!?)と多く、過去の開催も好評でした。

今回はしっかり感染対策を講じたうえで、昨年オープンしたばかりの「沖縄プリンスホテルオーシャンビューぎのわん」での開宴となり、20名を超える先生方の参加がありました。

毎回お世話になっております山城惟欣先生(サンパーク胃腸内科クリニック)によるワインブースは大好評を博し、上原哲夫先生(宮良クリニック)の三線による島唄の響きは「ほろ酔いコンサート」の表現にふさわしい雰囲気演出となりました。

3年ぶりの開催ということもあり、常連の先生方はもとより、この間に新規開業された先生や、開業を予定する先生の参加もあり、コロナ前の親睦機会が戻ったような光景で大変盛会となった旧正新年会でした。

今年はいよいよ新型コロナ流行による自粛や中止措置も明け、当会の各種親睦行事(二水会)も再開できそうです。会員の先生方のご参加をお待ちいたしております。



乾杯の様子

浦添市医師会 旧正新年会 3年ぶりに開催!

副会長 藏下 要



浦添市医師会会員の親睦を目的とした“旧正新年会”が今年3年ぶりに開催されました。

医療現場では新型コロナウイルス感染症に対する警戒を完全には解除できない状況もあり、大人数が集まる医師会の年末の忘年会はまだ再開できませんでした。しかし会員のみが参加する旧正新年会はぜひ開催して欲しいという声が多く聞かれたため、理事会でも議論した結果、個々の体調管理の徹底と会場での感染対策を施した上で2月10日に開催することとなりました。

会場では、久しぶりに宴会の席で会えた常連の先生方の笑顔であふれる姿、コロナ禍の3年間の間に新規開業された先生方やこれから開業予定の先生が挨拶をして回る姿などが見られ、参加された皆さんがこの日を心待ちにしていたことが伺えました。

池村剛前会長の乾杯の音頭で宴はスタート。ワインブースで提供される絶品のワインに舌鼓を打ち、プリンスホテルの上品な食事を堪能しながら、3年間の空白を忘れてしまうほどの楽しい時間を過ごせたのではないかと思います。唄三線の余興が控えていたためか、上原哲夫先生(宮良クリニック)がお酒を我慢していた姿はほほえましいものがありました。

新規開業された先生方のご挨拶は初々しく(?)、浦添市医師会に新しい風を感じることができました。お待ちかねの福引では1等から8等までの景品があり、栄えある1等賞は、浦添市内で開業を予定されている、あさゆうおうちクリニック内科・小児科の垣花一慶先生が見事ゲットしています。

2023年度が始まりました。これから医師会の活動も徐々にコロナ禍前の状態に戻していき、病・診・行連携や会員同士の交流が更に活発になるよう取り組んでいきたいと思えます。



司会の藏下要副会長



山城惟欣先生厳選のワインブース



浦添市医師会 旧正新年会に参加して

サンパーク胃腸内科クリニック 院長 山城 惟欣



浦添市医師会の忘新年会におきまして、従来は同仁病院よりワイン部としてブース出展させて頂いておりましたが、今回は単独でやる事となり心細さもあったものの3年ぶりの新年会を多少なりとも盛り上げる事ができたかと安堵しております。

浦添市伊祖にオープンして17年目となるワインバー「バーガンディー」のソムリエ松田氏による選りすぐりのラインナップを、ご参加の先生方より大変高く評価して頂き、用意した18本があっという間に空瓶となりました。

私を含めここ数年以内に新たに開業した医師や、今後開業予定の若手医師の参加もあり、医師会の先輩方より教訓に富むアドバイスを多く頂き、大変有意義な時間を過ごす事が出来ました。

また次回は、さらに充実したワインラインナップをご用意させて頂きたいと思っておりますので、予算アップを求める声が医師会まで多く寄せられますことを期待しております。

浦添市医師会 旧正新年会に参加して

浦添さかい眼科 院長 酒井 寛



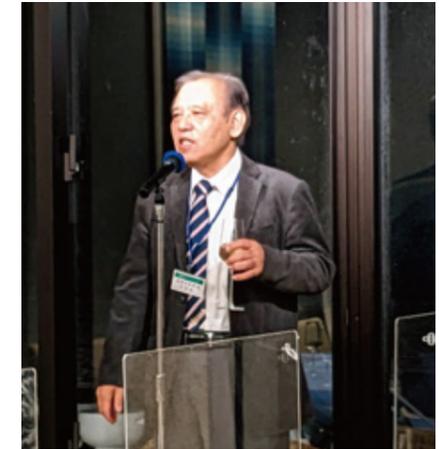
泡盛と三線と唄のある宴というのは、他県出身者である私にとって沖縄を感じる特別な幸せを感じます。コロナ禍と自分の年齢のためか冠婚への出席も最近すっかりご無沙汰で、上原哲夫先生の素敵な演奏に、ほろ酔いで「ああ、やっぱり良い」とコロナ禍明けを実感いたしました。

きれいな会場で、スタッフの方々のサービスも気持ちよく料理も大変美味しそうでしたが、山城惟欣先生のセレクトによるワインがことのほか美味しくどうも身体が他のものを受け付けません。だんだんと騒々しくなりました。申し訳ありませんでした。抜け落ちていない記憶の限りでは和気あいあいと楽しい会でした。

忘年会で以前のように多くの先生方と飲む美味しいワインを楽しみにしております。島唄もまた聴かせていただきたいです。あ、泡盛も好きですけど。



洲鎌盛一浦添市医師会長による開会の挨拶



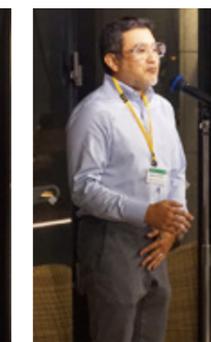
池村剛前浦添市医師会長に乾杯の音頭をいただきました



上原哲夫先生による三線演奏



ワインコーナーも大盛況でした!



新規開業の先生方、開業予定の先生にご登壇いただきました



福引き大会も行いました♪

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー市民公開講座 (報告) 「在宅での看取りについて～あなたの身近な相談者～」

日 時：令和5年1月28日（土）14：00

場 所：アイム・ユニバースてだこホール市民交流室

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー事務局

去る1月28日（土）に「在宅での看取りについて～あなたの身近な相談者～」と題して、令和4年度浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー市民公開講座を開催致しました。新型コロナウイルス感染状況を考慮し、定員を150名と決め、当日は約118名あまりの参加者にご来場いただきました。

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー運営委員会で協議を行い「看取り」をテーマに開催するにあたり、地域住民が人生の最終段階におけるケアの在り方や在宅での看取りが多職種で行われていること等を知ってもらうことを目的として、今回の市民公開講座のタイトルを「在宅での看取りについて～あなたの身近な相談者～」に決定いたしました。

まず初めに、ありあけの里指定居宅介護支援事業所主任介護支援専門員の備瀬卓谷氏に「在宅（自宅）での看取りとは～在宅看取りを実現するために～」と題し、看取りの概要をご報告していただき、次に多職種での関わりについて以下の5名の登壇者に各10分間ずつ発表していただきました。

1.「在宅看取りについて～訪問診療医からの視点から～」

アイビーホームケアクリニック 医師 国仲慎治

2.「在宅での看取りについて」

浦添市地域包括支援センターライフサポート 社会福祉士 池間大輔

3.「看取りにおける介護支援専門員の役割」

ケアプランセンター niko 介護支援専門員 友寄利津子

4.「在宅での看取りについて」

きずな訪問看護ステーション 看護師 奥間賢一郎

5. 訪問介護における看取りについて

ヘルパーステーションらくだ 介護福祉士 安保奈緒

発表後の質疑応答の時間では会場からいただいた沢山の質問に対して各登壇者にご回答して頂きました。10代から80代まで幅広い年齢層の参加があり、「在宅での看取りについて勉強になった」、「多職種間での関わりが分かった」、「施設入所している親を看取りたい気持ちになった」等のご感想があり、看取りについて考えるきっかけにつながったと思います。

新型コロナウイルス感染症対策として人数を制限しての3年ぶりとなる参集型での開催ができました。今回の市民公開講座の開催にあたり、ご登壇や総合司会をお引き受けくださいました皆様には、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

今回の市民公開講座の様子はうらっしーホームページで配信しております。

当日のアンケート結果も掲載いたしますので、是非ご覧ください。

- 浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしーホームページ
<http://www.urasshii.com/>



総合司会の
桃原淳さん



備瀬卓谷さん



国仲慎治先生



池間大輔さん



友寄利津子さん



奥間賢一郎さん



安保奈緒さん



会場の様子



質疑応答の様子



演者の皆さま お疲れさまでした!

令和4年度那覇空港航空機事故対処訓練(報告)

日時：令和5年2月22日(水) 14:00
場所：那覇空港西側台風時避難用エプロン

救急・災害担当理事 比嘉 富貴



那覇空港航空機事故対処訓練は、国土交通省大阪航空局那覇空港事務局が主催し行われた。航空機事故により多数の負傷者が発生したことを想定し救急医療救護活動に特化した部分訓練である。関係機関による相互の綿密な連携のもと、救急救護医療活動を適切かつ迅速に実施し、人命被害等の軽減に努めることを目的とする。

参加機関は消防機関、医療関係、警察、自衛隊、その他協力隊、支援機関を合計し、60機関、参加人数は約250名。車両約30台とヘリコプター2機で行われた。

我々浦添市医師会は沖縄赤十字病院とともに第2救護所(黄色テント)の担当となった。

浦添市医師会は医師・看護師ともに4年ぶりの参加であり、赤十字病院の担当医師がリーダーとなり救護にあたった。

訓練が開始されると空港敷地内の騒音は緊張感を駆り立てるものとなり、救護対象者役の方々の多様な演技も実際の災害現場にいるような感覚を覚えた。

最初は指揮の下に対応していたが、徐々に慣れてくると研修時代に救急外来にて学んだ事を思い出しながら対応出来るようになり次第に周囲の状況を観察出来るようになってきた。

一番強く印象に残ったこと病院は我々医療者が中心であるが、災害現場においては救急・消防隊はもちろんのこと、警察や海上・航空自衛隊等普段関わらないような様々な職業の方が関わって人命救助に当たっていることであった。

学ぶことも多く、今後もぜひ多くの方に参加してもらい、私も今後も参加したいと思います。関係者各位の皆様お疲れ様でした。



訓練の様子



那覇空港航空機事故対処訓練に参加して

嶺井第一病院 看護師 比嘉 妙子



DMAT、警察、消防、自衛隊、赤十字病院を始め多くの医療機関の方々が多く集まり、緊張感あふれる大規模な訓練現場でした。訓練直前のオリエンテーションも、自衛隊の飛行機やヘリコプターの音でほとんど聞き取れず、戸惑っているなか訓練はスタートしました。

「どうせやるなら、忙しく動くところでやりましょう」と比嘉先生の言葉で私達浦添市医師会は黄色のトリアージエリア担当へ。「聞いていたのとちがう～」と思ったのは一瞬で、後は訓練終了まで無我夢中でした。

訓練に参加して思ったことを挙げます。

- ・ 負傷者の状態について、医師の指示を待つだけでなく、考え評価して行動できるような救急看護の知識や技術が必要と感じました(黄色エリアだったこともあり)。
- ・ 離れ離れになった家族や友人を心配する負傷者、苦しみや痛みを訴える負傷者への声かけや対応は難しかった。憶測や安易な返答もできず、不安を共有しながらも励ますことしかできなかった。もっとよい対応があったのではないかと今も考えます。
- ・ このような反省は、訓練を経験しなければ得ることができませんでした。緊張感を持ち訓練することはやはり大切と思いました。貴重な経験をさせて頂き感謝致します。ありがとうございました。



訓練の様子



お疲れ様でした!



第23回うらそえ市民公開講座(報告)

「心不全パンデミックって何ですか?～みんなで知ろう心不全のこと～」

日時：令和5年3月27日(水) 19:00

場所：FM21



副会長 藏下 要

2022年度の『うらそえ市民公開講座』は昨年に引き続き、FM21からのラジオ放送を通して開催致しました。新型コロナウイルスの感染状況は今年1月以降、徐々に落ち着きを見せてきた時期ではありましたが、この市民公開講座を聴講する市民の方に高齢者が多いことも考慮し、ただこホールでの対面式、集合形式での開催については今年度までは控えた方がいいとの判断に至りました。

今回のテーマは、現在、医療の現場で大きな問題となっている心不全について取り上げ、タイトルは「心不全パンデミックって何ですか?～みんなで知ろう心不全のこと～」とさせていただきます。コロナパンデミックを経験した直後でもあり、『心不全パンデミック』という今話題となっている用語を、市民の皆さんに受け入れてもらうにはいい機会だと思われました。

講師は浦添総合病院 循環器内科部長の上原裕規先生と牧港中央病院看護師で心不全療養指導士の玉城由美子さんをお願いしました。第1部の上原先生の基調講演では心不全とは何か?パンデミックとは何か?という基本なお話から始まり、日本、特に沖縄において心不全が急増している現状、そして治療や予防についての話に至るまで、市民向けに分かりやすく丁寧に解説していただきました。生放送中にはYouTubeでも同時配信し、視聴可能な方は講演スライドも見るように工夫をしました。第2部では玉城さんにも加わっていただき、パーソナリティとしてFM21の城前ふみさんと私を加えた4人によるパネルディスカッションを行いました。心不全について市民一人一人が留意すべきことや心不全にならないための予防の重要性、日頃から予防のためにそれぞれができることなどについて更に話を深めていきました。放送は講師からのリクエスト曲やゆんたくも交えながら進めていき、放送時間の2時間があっという間と感じてしまうほど、リスナーにとって楽しく、わかりやすい内容になったのではないかと思います。

今回は講師の上原先生が講演に慣れていらして、ラジオ放送も経験されていることもあって、本番の生放送までの事前のミーティングは1月から開始して開催は2回だけと、準備期間も短い中で大変スムーズに打ち合わせを進めることができました。また、パネリストの玉城さんはラジオ出演が初めてとは思えない程、落ち着いた優しい語り口で、リスナーの皆さんも心癒されながら、じっくり話を聞いていただけたのではないかと思います。

今回の市民公開講座の放送は、3月27日の生放送の後、4月2日の朝に再放送を行いました。その後も市民からのお問い合わせやご要望もあり、4月26日にも再々放送も行いました。今回のテーマに対する市民の関心の高さが伺えました。今年度の第24回うらそえ市民公開講座は2023年9月16日(土)に4年ぶりのアイム・ユニバースてだこホールでの開催を予定しており、現在準備を進めているところです。どうぞお楽しみに。

第23回うらそえ市民公開講座に参加して

浦添総合病院 循環器内科 部長 上原 裕規



先日、うらそえ市民公開講座で「心不全パンデミック」という衝撃的なタイトルで講演をさせていただきました。心不全は世界的にも大流行しており、その予後は癌の患者さんと同様であるという趣旨でした。心不全という病気は聞いたことはあっても、詳細はご存知ない方も多いかと思います。

心不全は怖い病気であり予防が大事だという事を伝えたいがあまり、張り切りすぎて、詳細な説明スライドをたくさん作成してしまいました。少々内容が難しくなったのではないかと反省していますが、まずは知ってもらうことが重要であり、熱意は伝わったものと自負しております。

ラジオ出演は今回で3回目になりますが、生放送という事もあり緊張の連続ではありましたが、合間に音楽を挟んでくれましたし、藏下先生と城前ふみさんの絶妙で息のあった夫婦漫才のおかげで(笑)、あっという間に時間が過ぎ、楽しく講演をさせていただきました。

本企画を開催していただいた、浦添市医師会の皆様方、FM21のスタッフの皆様等関係各位の方々に感謝申し上げます。また呼んでくださいね。

第23回うらそえ市民公開講座に参加して

牧港中央病院 外来看護師 心不全療養指導士 玉城 由美子



私は、今回初めてうらそえ市民公開講座への参加をさせていただきました。

心不全の発症予防のための自己啓発を含めて市民の皆様へ向けて心不全とその背景にある病気のことを少しでも知っていただき、心不全とうまく付き合っていく生活行動について、市民の皆様へお伝えできたらと思ってお話をさせていただきました。

心不全と診断されても生きがいや楽しみを実現できるような人生を送っていただけるよう、日々の生活の一部として体重や血圧・脈拍の異常数値や心不全症状出現時には迷わず連絡・相談・受診できるように支援していきたいと考えております。

今後もお困りのことがありましたら、気軽に相談できる病院窓口・心不全療養指導士の一人であり続けたいと再認識させていただきました。

本当に貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

「浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー」は、介護保険法における地域支援事業の包括的支援事業として浦添市からの委託により平成27年4月1日より浦添市医師会に設置され今年で9年目を迎えます。

令和4年度 浦添市在宅医療・介護連携推進事業の実施報告(概要) (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

①現状分析・課題抽出・施策立案

地域の医療・介護の資源の把握

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしーホームページの管理・運営

(URL : <http://www.urasshii.com/>)

掲載内容の更新、新規事業所や休止事業所の把握、専門職への情報提供

在宅医療・介護連携の課題の抽出

浦添市在宅医療・介護連携支援センター運営委員会の開催

一次連携(同職種連携)支援(医師)

二次連携(異職種連携)支援(医師・看護師)

浦添市医療・介護事業所コロナ対応協働プロジェクト研修会の開催

切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

在宅医療や在宅主治医に関する依頼・相談(21件)

在宅主治医(訪問診療)の紹介(4件)

②対応策の実施

在宅医療・介護連携に関する相談支援

相談件数(50件)

高齢者施設等における新型コロナウイルス感染症発生時の相談窓口の運営

第23回うらそえ市民公開講座に参加して

浦添市医師会提供番組
ゆんたく健康トーク担当パーソナリティー
FM21株式会社

城前 ふみ



この度「心不全パンデミックって何ですか?～みんなで知ろう心不全のこと～」と題した、うらそえ市民公開講座にラジオパーソナリティーとして参加させていただき感謝申し上げます。

本講座では、講師、パネリストの丁寧で分かりやすい語り口により、心不全とは何か、原因、治療方法、またその予防がいかに重要か等を、電波を通して浦添市民をはじめ多くの受講者(リスナー)の皆さんにお届けできたのではないのでしょうか。(この公開放送はYouTubeでも視聴いただけます。)

私達は、この講座からうちあたいるだけでなく、実行に移すことが必要であることを学びました。

頑張ろう うちなーんちゅ!



洲鎌盛一浦添市医師会長のご挨拶



生放送の様子



ご講演ありがとうございました!

地域住民への普及啓発

市民公開講座の開催 (1回)

命しるべいのちの道標パンフレット:介護事業所へ配布、市民公開講座にて市民へ配布
令和3年度市民公開講座 (DVD) 配布及びDVD内容の提供

医療・介護関係者の情報共有の支援

高齢者福祉施設等における救急ガイドブック普及啓発に向けての意見交換会 (1回)

医療・介護関係者の研修

多職種連携研修会の開催 (1回)

各種研修会への参加 (9回)

③その他

在宅医療・介護連携に関する関係地区町村の連携

地区医師会コーディネーターミーティング

在宅医療・介護連携市町村支援事業コーディネーター等連絡会議

その他

うらそえ介護福祉士会の連携 (随時)

うらそえ腎腎プロジェクトってなあに？



地域保健担当理事 島尻 佳典

はじめに

浦添市医師会は浦添市と共同で浦添市CKD・糖尿病性腎症重症化予防連携事業、通称「うらそえ腎腎プロジェクト」という事業を展開しております。これまでこのプロジェクトについて多くの会員の先生方に認識していただけるように講演会を行って参りましたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延でそれらの会が開催されない状況が続いていました。まだまだ周知度が低いと思われるので、会報誌上をお借りしてプロジェクトの概要についてご説明し、各医療機関へのご理解を賜りたいと思います。

経緯

尿検査の異常が3ヶ月以上持続、もしくは腎機能を示す推定糸球体濾過量 (eGFR、単位は ml/min/1.73 m²) が60を切る疾患をまとめて慢性腎臓病 (CKD) と呼びます。20歳以上の日本人の約8人に1人がこのCKDと推定されており、新たな国民病と言われています。CKDが悪化して人工透析への移行が増えると各保険者 (市町村) の負担が増えることが予想されます。そこで政府は、平成28年、糖尿病性腎症重症化予防プログラムを策定し、腎疾患の増加に歯止めをかけようとするプロジェクトをはじめました。CKDの方を早めに腎臓病の専門医に紹介し、早い段階から治療することで、患者の健康を守り、人工透析にかかるお金を抑制するという大きな目標を掲げたプロジェクトです。

沖縄県医師会はこれを受けて各地区医師会の担当理事などを招集し、このプロジェクトについて通達しました。浦添市医師会は、平成29年9月7日、市内で開業されている腎臓専門医の先生方 (みやざと内科クリニック、徳山クリニック、さくだ内科クリニック)、人工透析を行っている基幹病院 (浦添総合病院、牧港中央病院、同仁病院) の先生方に集まって頂き、ワーキングチームを立ち上げました。医師会として会員並びに浦添市との連携がとれるようなコアとなる会です。代表世話人には腎臓内科専門医、みやざと内科クリニック院長 宮里 昌先生をお願いしました。10月11日には浦添市医師会の定例二水会で前浦添市医師会長の池村クリニック院長 池村 剛先生、浦添市福祉健康部健康づくり課課長 福原雅史氏、管理栄養士である崎原和子氏を交えて会員の先生方への説明会を開催しました。

ワーキングチームの最初の仕事は、浦添市の保健師・管理栄養士が特定健診を受けた方々のなかからCKD対象者を拾い上げたあと、腎臓内科専門医を受診するように促すシステムを構築することでした。多くは糖尿病性腎症が中心と考えられ、既にかかりつけの主治医を持っておられます。直接腎臓内科受診をお勧めすることも可能ですが、やはり一度は主治医を通す必要があります。かかりつけ医を飛び越して専門医への受診を促すことは、

主治医と患者さんの関係を損ねる恐れがあり、また主治医の立場を悪くする可能性もあります。患者さんによっては、「主治医は何も言わないのになぜあなたが言うの?」と保健師等を疑ったり、「自分の主治医は私の腎機能について知らないのでは?」という疑念が湧く恐れもあります。これら様々な問題点を解決し、かつ対象者が実際に腎臓専門医を受診したか一元的に把握できるようにする必要があります。そこで、ワーキングチームは他の地区医師会(那覇市医師会は通称 CKD48、中部地区医師会はちゅらまーみプロジェクト)を参考にかかりつけ医と腎臓専門医、そして浦添市を結ぶ書式を作成しました(様式 1 参照)。

こうして平成 30 年 4 月から「うらそえ腎腎プロジェクト」の取組みが始動しています。その後、病期に応じて腎臓専門医と一緒に治療する二人主治医という体制も推進・導入され、かかりつけ医にとっては腎機能の悪化した患者さんを診察するプレッシャーがかなり軽減されるようになりました。さらに今年(令和 5 年)に入って、浦添市側からの提案をワーキングチームにおいて協議し、腎機能の状態を薬局などとも共有できるような CKD シールを作成しました。こうして多職種連携によりプロジェクトの幅を広げています(図参照)。

会員の先生方へのお願い

①紹介の流れについて(様式 1)

(ステップ1) 先生方により通院患者の腎機能を紹介基準と照らして合わせて確認します。また、特定健診を受けた結果が紹介基準に該当する方については、浦添市から腎臓内科の受診についてかかりつけ医と相談するよう促します。

(ステップ2) かかりつけの先生方は経過やご本人の状況にもよりますが、表を参考にして腎臓専門医の施設や診察日を確認してご紹介下さい。紹介状は各自の医療機関の形式でも問題ありません。

(ステップ3) 紹介後の治療方針についても先生方のご希望をチェックして下さい。紹介後、腎臓内科から主治医への返書と同時に、浦添市にも受診したことが報告され、行政側は実数の把握が可能になります。書式は浦添市健康づくり課のホームページ、うらそえ腎腎プロジェクト様式集からもダウンロードできます。

②CKD シールについて(図)

健診を受けた方には必要に応じてCKDシールが配られます。また、浦添市から内科および協力医(後述)にCKDシールが郵送されています。検査して得られた腎機能の数字を医療機関等で記録し、お薬手帳の見開きの裏側に貼付して下さい。他の医療機関や薬局と腎機能の情報が共有できると同時に、患者さんにもご自身の腎機能を知っていただくツールになります。腎機能の説明は実際の単位、点数、%など、運用しやすいようにお願いします。お薬手帳の見開き裏に貼れば、個人情報漏れることも避けられると考えています。

③登録医について(協力医リスト)

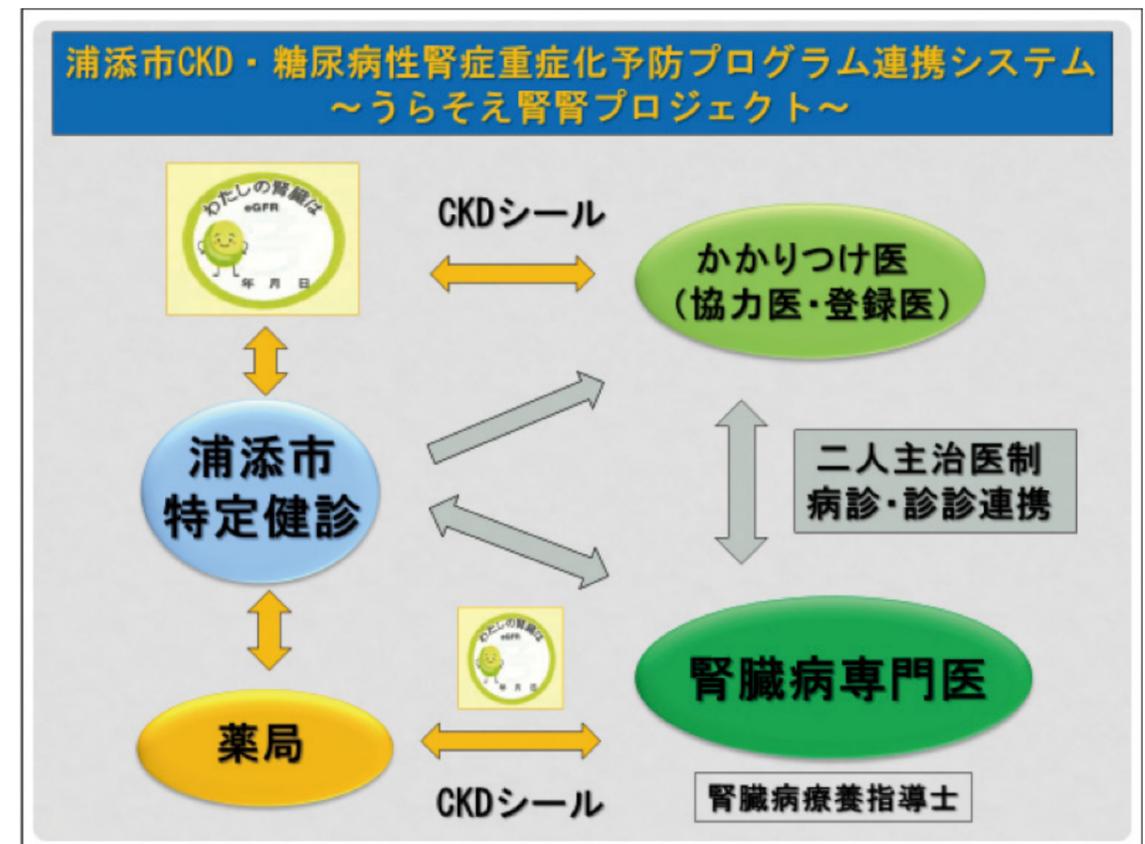
かかりつけ医のいない腎機能の低下した方の場合、保健師等が特定健診の結果から拾い上げたにも関わらず、どの医療機関に受診を勧めて良いか迷うことがあります。腎臓内科医の常勤する基幹病院である浦添総合病院の受診を希望しても紹介状が必要

になります。このような観点から、浦添市はこのプロジェクトに協力していただける先生方を協力医という形で登録し、ホームページ上で公開して紹介先を確保しております(令和 4 年 9 月現在 15 施設 16 名)。もう一つのメリットとして、かかりつけ医が協力医であると、患者さんは腎機能に関して相談しやすい環境になると思われます。協力医への登録をご希望される先生方は浦添市健康づくり課へお申込み下さい。

代わりに

浦添市健康づくり課によると現在浦添市で人工透析を受けている人数は約 300 ~ 330 人であり、年間約 15 ~ 20 億円かかっている計算です。しかし、令和 3 年の段階で新規に人工透析に移行する人数は緩やかに増加しつつも、ほぼ頭打ちになっているとの報告がありました。新しい薬の登場や透析施設の受け入れ人数の容量も考えられますが、地道な活動の成果なのかも知れません。

浦添市医師会はこれまで一市一医師会という特徴を活かし、行政との協力を進めて参りました。牧港中央病院理事長の洲鎌盛一先生が浦添市医師会長に就任し、あらためて定款に行政との一体化を謳っております。医師会と行政との連携がうまく行っているモデルとしてこのプロジェクトが大きな意味を持つものと思います。また、人工透析が減少することで患者さんの生活の質が改善し、医療費の逼迫が抑えられるのであれば、市民の皆様にご協力宜しくお祈りいたします。



うらそえ腎腎プロジェクト図

浦添市CKD・糖尿病性腎臓病重症化予防プログラム紹介シート

ステップ1

以下の紹介基準を満たしている場合、CKDの診断・治療について疑問がある場合、患者の意向をご確認の上、紹介して下さい

紹介基準

eGFR値による紹介基準		*eGFR値=ml/min/1.73m ²
①	40歳未満	eGFR 60未満
②	40歳以上	eGFR 45未満
③	3ヶ月以内に、30%以上のeGFRの低下	
蛋白尿による紹介基準		
④	尿蛋白2+以上、または尿蛋白/尿Cr比0.5以上	
⑤	蛋白尿と血尿がともに陽性(1+以上)	
⑥	糖尿病がある場合は尿蛋白1+以上	

ステップ2

以下の腎臓専門医へ紹介下さい

No.	医療機関名	医師名	住所	TEL	診療日							予約
					月	火	水	木	金	土		
1	みやざと内科クリニック	宮里 昌	浦添市宮城2-17-1	875-7000	AM	○	○	○	▲	○	○	不要
2	徳山クリニック	徳山 清之	浦添市牧港2-46-12 1F	942-1001	AM	○	○		▲	○	○	必要
					PM	○			○	○		必要
		AM			○	○	○	▲				
		PM					○					
3	さくだ内科クリニック	佐久田 朝功	浦添市経塚585-1 1F	878-2500	AM	○	○	○	○	○	○	不要
4	浦添総合病院	上地 正人	浦添市伊祖4-16-1	878-0231	AM							必要
					PM		○	○				
		AM									○	
		PM				○						
5	同仁病院	桑江 紀子	浦添市城間1-37-12	878-2212	AM						○	必要
6	名嘉村クリニック	井関 邦敏	浦添市伊祖4-2-1	870-6600	AM				○	○		不要
					PM	○		○	○			

*みやざと内科クリニック宮里医師の木曜日(▲)は、第2・第4週のみとなります
 *徳山クリニック徳山医師、知念医師の木曜日(▲)は、第2・第4週のみとなります

ステップ3

紹介後の方針にチェックを入れ、以下のものを本シートと一緒に持たせてください

- ※ 診療情報提供書(紹介状)
- ※ 過去の血液・尿検査データ
- ※ お薬手帳など、処方内容がわかる資料

紹介後の方針 □にチェックをお願いします。ただし、状況によってはご意向に添えない場合があります。

- 2人主治医制とし、可能な限り自院で診る 専門医の判断に任せる(転院も可)

浦添市CKD・糖尿病性腎臓病重症化予防プログラム連携 協力医一覧

協力医とは、浦添市CKD・糖尿病性腎臓病重症化予防プログラム連携システムに賛同し、浦添市と浦添市医師会の登録を受けた医師のことです。

令和4年9月現在

No.	医療機関名 (50音順)	医師名	所在地	電話番号
1	稲福内科医院	稲福 徹也	浦添市字経塚633	988-4557
2	浦西医院	仲間 清太郎	浦添市当山2-9-3	878-7070
3	かりまた内科医院	狩俣 陽一	浦添市内間4-23-21	878-5126
4		狩俣 洋介		
5	キンザー前クリニック	島尻 佳典	浦添市宮城1-29-1-1F	963-9010
6	幸喜内科 糖尿病・甲状腺クリニック	幸喜 毅	浦添市前田2-1517	878-8822
7	城間クリニック	城間 清剛	浦添市字前田564-1	878-8213
8	同仁病院	宮里 朝矩	浦添市城間1-37-12	876-2212
9	なかそね内科・循環器科	仲宗根 豊	浦添市内間4-1-2	874-1155
10	なしろハルンクリニック	名城 文雄	浦添市屋富祖3-34-2メディア カルプラザたろう3階	877-7777
11	ひがハートクリニック	比嘉 耕一	浦添市港川2-23-2	875-4810
12	まえだクリニック	今山 裕康	浦添市前田1-48-8	917-5542
13	牧港中央病院	上地 洋一	浦添市字牧港1199	877-0575
14	まちなと内科在宅クリニック	大瀨 篤	浦添市牧港2-46-8	875-8888
15	嶺井第一病院	田口 瑞希	浦添市字大平466	876-2312
16	みやぎ内科循環器科ファミリー クリニック	宮城 淳	浦添市伊祖2-3-6-1	871-3088

入会・退会・異動報告（令和5年1月～4月理事会）

入 会			
氏 名	医療機関名	診療科目	入会年月日
饒波 正博	平安病院	精神科・心療内科	R5.4.1
新垣 涼子	牧港中央病院	循環器外科	R5.4.1
小林 竜司	牧港中央病院	内科・循環器内科	R5.4.1
坂本 優貴	浦添総合病院	臨床研修医	R5.4.1
桑野 佑里恵	浦添総合病院	臨床研修医	R5.4.1
綿引 日奈子	浦添総合病院	臨床研修医	R5.4.1
岩崎 梨奈	浦添総合病院	臨床研修医	R5.4.1
宮城 由衣	浦添総合病院	臨床研修医	R5.4.1
山城 遥	浦添総合病院	臨床研修医	R5.4.1
小林 稜典	浦添総合病院	臨床研修医	R5.4.1
大岩 望実	浦添総合病院	臨床研修医	R5.4.1
勝久 宗馬	浦添総合病院	臨床研修医	R5.4.1
石原 英理	浦添総合病院	臨床研修医	R5.4.1
在塚 涼音	浦添総合病院	臨床研修医	R5.4.1

異 動			
氏 名	医療機関名	異動事由	異動年月日
山内 英樹	同仁病院	会員区分変更(管理者交代)	R4.10.1
山内 裕樹	同仁病院	会員区分変更(管理者交代)	R4.10.1
高良 聡子	たから小児科医院	会員区分変更(閉院のため)	R5.4.1
新里 陽弘	自宅会員	現住所変更	R5.4.1

退 会			
氏 名	医療機関名	退会事由	退会年月日
喜友名 朝則	浦添総合病院	医師会の異動	R5.3.31
貴島 涉	浦添総合病院	医師会の異動	R5.3.31
森越 健之介	浦添総合病院	医師会の異動	R5.3.31
榊 泰臣	浦添総合病院	医師会の異動	R5.3.31
中村 旭宏	浦添総合病院	医師会の異動	R5.3.31
平山 愛子	浦添総合病院	医師会の異動	R5.3.31
毛利 教生	牧港中央病院	退職	R5.3.31
照屋 明子	比嘉眼科	医師会の異動	R5.3.31

理事会報告（令和5年1月～4月）

令和5年1月16日（月）19:00

- 異動報告
- 会議・委員会等参加報告
 - ・令和4年度第1回会費検討委員会について
 - ・令和4年度第1回沖縄県産業医研修連絡協議会について
 - ・令和4年度第1回沖縄県医師会産業医部会役員会について
- うらそえ子育て応援アプリ「母子モ」について
- 令和4年度FM21ラジオうらそえ市民公開講座について
- 令和4年度浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー市民公開講座について
- 浦添市医師会旧正新年会について
- プロ野球オープン戦開催に伴う医師・看護師の派遣について
- 承認事項
 - ・沖縄在宅医療推進フォーラム2022後援について
 - ・第19回沖縄県介護支援専門員研究大会 in 読谷協賛について
- お知らせ
 - ・たから小児科医院（高良聡子院長）1月末で閉院

令和5年2月20日（月）19:00

- 会議・委員会等参加報告
 - ・令和4年度第2回かかりつけ医等心の健康対応力向上研修企画委員会について
- 浦添市予防接種事業説明会について
- 令和4年度那覇空港航空機事故対処訓練について
- 第62回浦添市医師会ゴルフコンペについて
- 浦添市CKD・糖尿病性腎症対策講演会について
- 第23回うらそえ市民公開講座（FM21特別ラジオ放送）について
- 第62回浦添市医師会定時総会について
- 承認事項
 - ・うらそえ介護福祉士会主催アミーゴカフェ後援について
- その他

令和5年3月20日（月）19:00

- 異動・退会報告
- 会議・委員会等参加報告
 - 沖縄県医師会「産業医部会」設立記念講演会について
 - 第1回地区医師会会長会議について
 - 日本臨床整形外科学会理事会について
- 第62回浦添市医師会ゴルフコンペについて
- 浦添市CKD・糖尿病性腎症対策講演会について
- 第23回うらそえ市民公開講座 (FM21特別ラジオ放送) について
- 第62回浦添市医師会定時総会について
- 令和5年度浦添市医師会各種表彰候補者の推薦について
- 承認事項
 - 令和5年度浦添市がん検診・浦添市個別予防接種見積りにについて
 - 「14th.With you～OKINAWA2023」後援について
 - 沖縄県母子保健推進連絡協議会賛助会員会費について
- お知らせ
 - 日本医師会会長松本吉郎先生講演会「中央情勢に関する講演会」について
 - 第149回浦添市医師会学術講演会について

令和5年4月17日（月）19:00

- 入会・退会・異動報告
- 会議・委員会等参加報告
 - 地区医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡会議について
 - 浦添市新型コロナワクチン接種に関する意見交換会について
 - 高齢者施設等と医療機関との連携推進に関する意見交換会について
 - 苦情対応に関する理事者意見交換会について
- 浦添市在宅医療ネットワーク世話人会（講演会）について
- 第23回うらそえ市民公開講座 (FM21) 再々放送について
- 第149回浦添市医師会学術講演会について
- サンエーパルコシティでの婦人がん検診普及啓発イベント進捗について
- 令和5年度（第25回）浦添市医師会学術奨励賞演題募集について
- 承認事項
 - 医療法人八重瀬会市民公開講座後援について
- お知らせ
 - 台中市医師会訪問について

講演会・研修会等のご案内

予定が変更になることもございます。ご了承ください。

日 時	講演会・研修名	場 所	講 師	日医生涯教育制度 カリキュラムコード
5/17(水) 19:00	第149回浦添市医師会 学術講演会	浦添市医師会・ZOOM	座長:國吉 幸男先生 (浦添総合病院心臓血管外科 顧問) 講師:古川 浩二郎先生 (琉球大学大学院医学研究科 胸部心臓血管外科学講座 教授)	12(地域医療) 42(胸痛)
5/24(水) 19:00	浦添市認知症 ネットワークミーティング	浦添市医師会・ZOOM	講師:新里 輔鷹先生 (琉球大学病院精神科神経科)	—
6/26(月) 19:00	第63回浦添市医師会 定時総会	浦添市医師会	—	—
7/9(日) 9:00	女性の健康フェスタ in サンエー浦添西海岸パルコシティ	(婦人がん検診会場) サンエーパルコシティ 1階駐車場オレンジゾーン (婦人がん普及啓発イベント会場) 1階マーケットプラザ	—	—
7/19(水) 19:00	令和5年度(第25回) 浦添市医師会 学術奨励賞発表会・表彰式	浦添市医師会・ZOOM	応募者多数の場合は 2週に分けて開催を予定しています (予備日7/26(水)19時)	—
8/9(水) 19:00	二水会 浦添市との意見交換会(予定)	浦添市医師会	—	—
8/18(金) 19:00	第31回浦添市医師会 ボウリング大会	てだこボウル	—	—
9/13(水) 19:00	第150回浦添市医師会 学術講演会(予定)	浦添市医師会・ZOOM	調整中	—
9/16(土) 14:00	第24回うらそえ市民公開講座	アイム・ユニバース てだこホール市民交流室	調整中	—
9/20(水) 19:00	浦添市認知症 ネットワークミーティング	浦添市医師会・ZOOM	—	—
9/22(金) 19:00	浦添市多職種連携研修会	浦添市役所9階講堂	—	—
9/23(土) 12:36	第62回浦添市医師会 ゴルフコンペ	琉球ゴルフ倶楽部	—	—
10/11(水) 19:00	二水会(予定)	浦添市医師会	—	—
10/21(土) 14:00	浦添市在宅医療・介護連携支援センター 市民公開講座(予定)	アイム・ユニバース てだこホール市民交流室	—	—

※浦添市在宅医療ネットワーク世話人会は毎月開催しております。詳細が決まり次第ご連絡申し上げます。

受けようがん検診!!

女性の健康フェスタ

in サンエー浦添西海岸パルコシティ

*令和5年度 浦添市婦人がん検診同時実施

令和5年7月9日(日) 9:00 ~ 14:00

サンエー浦添西海岸パルコシティ(1階マーケットプラザ)

9:00 ~ 12:30

浦添市婦人がん(乳がん・子宮頸がん)検診

- *浦添市民対象(受診券をご持参下さい)
- *予約締切日: 6月16日(金) 16時まで
(期限内であっても定員に達し次第締め切ります)



がん検診予約

健康相談、血压測定
血管年齢測定・ベジチェック®

9:00 ~ 14:00

乳がん検診 啓発展示パネル



観覧
自由

12:00 ~ 14:00

普及啓発イベント

司会: 村山 綾乃 (ラジオパーソナリティ)

- 幕開けの琉舞: 赤嶺 光子 (NPO乳がん患者の会 ぴんく・ぱんさあ)
- 乳腺専門医 × 乳がんサバイバーによるトークセッション
(宮良医師 + 藏下医師 × お二人の乳がんサバイバー)



宮良 球一郎 先生 (宮良クリニック) 藏下 要 先生 (浦添総合病院)



バトンスタジオ
Tida Batonteam Okinawa



エイサー演舞
鼓衆 若太陽
(ちぢんしゅう わかていーだ)

主催: 浦添市 ・ 一般社団法人 浦添市医師会

協力: (一財) 沖縄県健康づくり財団 ・ NPO 乳がん患者の会 ・ 日本生命保険相互会社 那覇支社浦添営業部

☎ 検診に関すること: 浦添市健康づくり課 (875-2100) イベントに関すること: 浦添市医師会 (874-2344)

事務局からのお知らせ

浦添市医師会ホームページ掲載情報について

浦添市医師会ホームページでは会員医療機関の診療時間などを掲載し、広く情報公開をしています。診療時間、受付時間、診療科目の変更・追加などがある時は、浦添市医師会事務局へご一報下さいますようお願いいたします。

浦添市医師会事務局

TEL:098-874-2344 FAX:098-874-2362

E-mail:info@uraishi.or.jp http://www.uraishi.or.jp

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー 専用電話番号のご案内

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしーの専用電話番号を設置しています。在宅医療・介護等についてのご相談はこちらの番号へおかけ下さい。FAXでのご相談の場合は、これまで通り浦添市医師会と共有です。

うらっしー専用電話番号 TEL:098-894-2698

弔事に係るご連絡について(お願い)

浦添市医師会では浦添市医師会運営規定に基づき、会員並びに会員の親等以内の親族の方が亡くなられた際は、供花、香典と共に新聞に弔慰広告を掲載し、弔意を表すこととなっております。

供花等を供する際の必要事項を記入する様式を備えておりますので、そのようなきは浦添市医師会へお電話にてご連絡下さい。

浦添市医師会 TEL:098-874-2344 FAX:098-874-2362

沖縄県医師会 TEL:098-888-0087 FAX:098-888-0089

浦添市医師会報へ掲載する表紙写真・会員寄稿 病院だより・診療所だより等のご寄稿を募集しております

本会では会報を年3回発行しており、よりおもしろく、よりためになり、親しみのある紙面作りをめざしています。

会報の表紙を飾る写真の投稿、随筆、書評、趣味の話・・・など、先生方の多岐にわたるご寄稿をお待ちしております。

昨今のコロナ禍で各種講演会等が延期となり、会員間の情報共有が取りづらくなっております。そこで、浦添市医師会報誌面を活用し、会員間、病院—診療所間の交流や各施設の情報提供などを目的として「病院だより」「診療所だより」のコーナーを設けております。お知らせ等お気軽にご寄稿いただけますと幸いです。

原稿は随時募集しておりますので、メールまたは郵送にて浦添市医師会あてお送りくださいますようお願いいたします。

メディカルスタッフの皆様にも、本会会報へのご投稿について、どうぞお声かけ下さいますようお願いいたします。

寄稿仕様

①表紙の写真

写真タイトル・表紙のこぼ(簡単な説明)・投稿者の医療機関名・氏名・連絡先を明記のうえ、浦添市医師会あてメールまたは郵送にてお送り下さい。

②随筆・書評・趣味の話・その他

タイトル・投稿者の医療機関名・氏名・連絡先を明記のうえ、日常診療のエピソード、紀行文、書評、趣味などお気軽にご寄稿下さい。

③病院だより・診療所だより

タイトル・投稿者の医療機関名・氏名・連絡先を明記のうえ、ご投稿ください。お知らせや診療についてのご案内等お寄せください。

※メールでお送り下さる場合は、件名に「浦添市医師会報寄稿」とご入力下さい。頂きましたご連絡先は、校正等のご連絡に使用させていただきます。

★会報に関する問い合わせ先★

浦添市医師会事務局 〒901-2132 浦添市伊祖3-3-1 アルマーレ101

TEL:098-874-2344 FAX:098-874-2362

Email:info@uraishi.or.jp

編集後記

ゴールデンウィーク明けには新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類」へと移行されました。法的取り扱い上はインフルエンザと同等となり、経済や社会はアフターコロナの時代へと向かっています。我々の医療現場でも院内感染やクラスター発生予防策の継続は必須となっているものの、各施設において徐々にコロナ前の医療提供体制を回復しつつあるのではないのでしょうか。浦添市医師会報の中身も様々なイベント関連の記事が戻ってきました。

今後、これまで中止や延期を余儀なくされていた定例の医師会活動を再開していき、次号には学術講演会、学術奨励賞発表会、二水会、その他医師会主催のイベントなどの開催記事も掲載していけるのではないかと考えています。これらの医師会の活動への会員の先生方のご参加ならびに会報へのご寄稿のご協力をよろしく願いたします。

副会長 藏下 要 (会員親睦・広報担当)

浦添市医師会報 2023年(令和5年)春夏号 通算第91号

発行:一般社団法人浦添市医師会 発行人:洲鎌 盛一

〒901-2132 沖縄県浦添市伊祖3-3-1 101

TEL:098-874-2344 FAX:098-874-2362

E-mail info@uraishi.or.jp ホームページ http://www.uraishi.or.jp

制作/株式会社スイッチ

2023年FM21「ゆんたく健康トーク」出演予定表

(2023年7月～12月)

7月	
3日	浦添市健康づくり課
10日	たつや整形外科
17日	牧港クリニック
24日	なしろハルンクリニック
31日	徳山クリニック

8月	
7日	介護老人保健施設アルカディア
14日	みやぎ内科循環器科ファミリークリニック
21日	アイビーホームケアクリニック
28日	浦添市社会福祉協議会

9月	
4日	サンパーク胃腸内科クリニック
11日	浦添市地域包括支援センターゆいまある
18日	げんか耳鼻咽喉科
25日	幸喜内科 糖尿病・甲状腺クリニック

10月	
2日	浦添市子ども家庭課
9日	宮良クリニック
16日	マンマ家クリニック
23日	同仁病院
30日	浦添総合病院

11月	
6日	うらそえ介護福祉士会
13日	比嘉眼科
20日	浦添市地域包括支援センターライフサポート
27日	キンザー前クリニック

12月	
4日	みやざと内科クリニック
11日	介護老人保健施設エメロードてだこ苑
18日	佐久田脳神経外科・外科
25日	年末特別放送

ラジオ
番組

浦添市医師会提供

「ゆんたく健康トーク」毎週月曜日 午後8時～9時

FM21 (76.8Mhz) で好評放送中！

FM21「ゆんたく健康トーク」再放送のお知らせ

毎週月曜日の午後8時から放送しております
「ゆんたく健康トーク」は、月曜日に放送した回を
毎週日曜日の朝6時から再放送しております。
聞き逃した回やもう1度聴きたい回をお聴きいただけます♪